

# 地域共同リポジトリの取組みと課題

## -広島県大学共同リポジトリ- (HARP)

広島大学図書館 尾崎 文代

# お話しすること

1. 複数機関による共同リポジトリ
2. 広島県大学共同リポジトリ(HARP)
3. HARP構築の経緯
4. 共同運営のための要素
  - システム
  - 運営体制
  - 意識形成
5. 今後の展開と課題

# 複数機関による共同リポジトリ

複数機関で生産された教育研究成果等を  
一つのサーバに蓄積・保存するリポジトリ



構築費用が抑えられる  
技術・ノウハウを共有できる



中小規模機関IR導入の障壁を除去  
オープンアクセスの裾野拡大

# ある図書館員の悩み

・・・どちらに進むべきか？・・・

効能：社会的価値向上

**スパ次世代**



効能：特になし

**ゆるまゆ  
温泉**



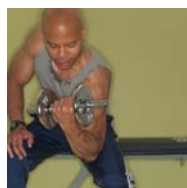
**リポトリ峠**



# 第3の選択肢

効能: 社会的価値向上

スパ 次世代



効能: 特になし

ゆるまゆ  
温泉

共同  
フット  
キャンプ


共同新道

リポジット峠



お悩み解決

# 共同リポジトリの例

	システム	運営主体	機関数 (運営大学)	特徴
White Rose ResearchOnline (UK)	e-prints 同居	White Rose Consortium (Leeds Univ.)	3大学 含	共同出資により職 員を雇用
SHERPA-LEAP (UK)	e-prints 独立 (一見)	University College London	9大学 別	UCLの出資 ホスティング サポート
ゆうキャンパス リポジトリ(山形)	DSpace 同居	大学コンソーシア ムやまがた (山形大学)	9大学 含	大学コンソーシアム
広島県大学共同 リポジトリ(広島)	DSpace 同居	広島県大学 図書館協議会 (広島大学)	11大学 別	

# 広島県大学共同リポジトリ(HARP)

- 2008.4.30 正式公開
- 広島県内の公・私立11大学の参加  
呉大・尾道大・広島国際大・広島国際学院大・広島女学院大  
広島工業大・広島市立大・広島文教女子大・広島経済大  
日本赤十字広島看護大・県立広島大
- ソフトウェア : DSpace
- 広島県大学図書館協議会※による運営  
(広島大学は事務局として関わる)

※広島県内の国公立大学・短大・高専図書館25館が加盟





検索

- ▶ HARP
- ▶ 参加大学一覧

### ブラウズ

- ▶ タイトル
- ▶ 著者
- ▶ 資料タイプ
- ▶ 日付

- ▶ ヘルプ
- ▶ 登録 (管理者専用)
- ▶ パスワード変更

HARP >

HARP(Hiroshima Associated Repository Portal)は、広島県大学図書館協議会の運営する広島県内の公・私立大学等による共同リポジトリです。参加大学の教育研究成果を蓄積・保存し、無償で発信する共同の電子書庫です。

▶ [詳細](#)

### 参加大学

- 呉大学 = Kure University [27]
- 尾道大学 = Onomichi University [7]
- 広島国際大学 = Hiroshima International University [29]
- 広島国際学院大学 = Hiroshima Kokusai Gakuin University [27]
- 広島女学院大学 = Hiroshima Jogakuin University [24]
- 広島工業大学 = Hiroshima Institute of Technology [54]
- 広島市立大学 = Hiroshima City University [47]
- 広島文教女子大学 = Hiroshima Bunkyo Women's University [34]
- 広島経済大学 = Hiroshima University of Economics [40]
- 日本赤十字広島看護大学 = The Japanese Red Cross Hiroshima College of Nursing [12]
- 県立広島大学 = Prefectural University of Hiroshima [0]

 呉大学 KURE UNIVERSITY

 Onomichi University 尾道大学

 Hiü 広島国際大学  
Hiroshima International Univ.

 広島国際学院大学

 広島女学院大学  
HIROSHIMA JOGAKUIN UNIVERSITY

広島工業大学

 広島市立大学  
HIROSHIMA CITY UNIVERSITY

 Hiroshima Bunkyo Women's University  
広島文教女子大学

 HUE 広島経済大学

 日本赤十字広島看護大学  
The Japanese Red Cross Hiroshima College of Nursing

 県立広島大学  
Prefectural University of Hiroshima



# 公開までの経緯 1

	内容	担当ほか
2006.10	<ul style="list-style-type: none"><li>・実験プロジェクト立ち上げ。</li></ul> 広島大学のCSI委託事業(平和学リポジトリから広島県内共同構築の着想) <ul style="list-style-type: none"><li>・第1回勉強会</li></ul>	8大学11名
2006.12	実験サーバ立ち上げ(DSpace, XooNips)	広島工業大
2007.1	第2回勉強会	9大学13名
2007.3	本稼動用サーバ導入	広島大
2007.6	第3回勉強会	9大学15名
2007.7	18年度CSI委託事業報告会で発表	広島大
<b>2007.7</b>	<b>19年度広島県大学図書館協議会総会で事業化承認委員会設立</b>	
2007.7	NII学術ポータル担当者研修受講	広島工業大 広島国際大 広島女学院大

# 公開までの経緯 2

	内容	担当ほか
2007.7	第1回県大図協共同リポジトリ委員会 19年度活動計画策定	広島経済大(委員長館) 広島市立大・広島工業大 広島国際大・広島女学院大 広島大
2007.9	県大図協第1回研修会(於:広島大学)	広島大・広島工業大発表 18大学47名
2007.9	私立大学図書館協会西地区研究会で 発表	広島工業大
2007.10	県大図協加盟館に意向調査	13大学が参加の意向
2007.11	DRF地域ワークショップ岡山で発表	広島市立大
2007.12	第4回勉強会	13大学17名
2008.1	英国の共同リポジトリ調査 White Rose, SHERPA-LEAP	広島大

# 公開までの経緯 3

	内容	担当ほか
2008.1	DRF国際会議2008 ポスター参加	広島大・広島工大 広島経済大
2008.2	第2回県大図協共同リポジトリ委員会 20年度活動計画策定	広島経済大学ほか 5大学
2008.3	20年度の参加募集	11大学が申請
2008.3	共同リポジトリ情報交換会(於:広島大学) (早稲田大・岡山大・長崎大・長崎国際大ほかHARP)	
2008.4	第5回勉強会	15大学25名
<b>2008.4</b>	<b>正式公開</b>	

# システム・ソフトウェア

- 広島工業大学に実験サーバ設置(2006.12)
- 領域ごとに管理可能なオープンソースを候補にあげる(DSpace, XooNips)
- 維持・保守への不安  
→ 業者委託のできるDSpaceに決定
- 本番サーバは広島大学に設置

# HiR(広島大学)とは別建にした理由

- E-repositoryは物理的に困難
- 大学ブランドの向上が学内合意のキー  
他大学を入れるのはまずいのでは...
- 参加大学側も、広島大学に間借りするのは如何なものか ...という雰囲気
- オープンソース導入のスキル取得
- 作業の分担が図れる(だろう)

# 共同で運営するための ソフトウェアの作りこみ

## 大学ごと個別化の工夫

- コミュニティごとにbaseURLを作成  
→ハーベストの個別化
- コミュニティごとにスタイルシートを作成  
→デザインの個別化
- メタデータに大学名  
→カバーページに表示

HARP >

## 日本赤十字広島看護大学 = The Japanese Red Cross Hiroshima College of Nursing

- HARP
- 参加大学一覧
- ホーム

### ブラウズ

- タイトル
- 著者
- 資料タイプ
- 日付
  
- ヘルプ
- 登録 (管理者専用)
- パスワード変更

検索対象

検索:

検索語

あるいは、ブラウズ

- 日本赤十字広島看護大学紀要 [12]

### 最近登録されたアイテム

メタリックシンドローム防止と食習慣・運動習慣

Report on the 29th Conference of the International Association for Human Caring

第29回国際ヒューマンケアリング学会:シンポジウムでの発表を終えて—ヒューマンケアリング理論:教育・研究・実践への応用—

第8回アジア太平洋タバコ対策会議(APACT)に参加して

脳性まひを持つ子どもの採血に関する看護師の考え

- ▶ HARP
- ▶ 参加大学一覧
- ▶ ホーム

## ブラウズ

- ▶ タイトル
- ▶ 著者
- ▶ 資料タイプ
- ▶ 日付

- ▶ ヘルプ
- ▶ 登録 (管理者専用)
- ▶ パスワード変更

HARP >

## 広島女学院大学 = Hiroshima Jogakuin University

検索対象: 広島女学院大学 = Hiroshima Jogakuin University ▼

検索語

あるいは、ブラウズ

- A 紀要等 [21]
- B 修士論文 [0]
- C 学位論文 [0]
- D 公開セミナー等 [0]
- E 叢書 [1]

## 最近登録されたアイテム

広島女学院を創立した人たち

わたしたちのゲーンズ先生そして  
広島女学院

『ヴェレット』: 語り手ルーシー・ス  
ノウの「劇的表現」

Zora Neale Hurston's  
Folkloric Aspects

「結びとどめよしたがみのつま」に  
ついて



HARP &gt;

## 広島経済大学 = Hiroshima University of Economics

検索対象: 広島経済大学 = Hiroshima University of Economics

検索語

検索

あるいは、ブラウズ

タイトル

著者

主題

日付

- 創立四十周年記念論文集 [40]
- 広島経済大学モノグラフ [0]
- 広島経済大学研究双書 [0]
- 研究論集 (1980-) [0]
- 経済研究論集 (1978-) [0]

### 最近登録されたアイテム

教員に求められる資質能力を育む「特別活動指導法」の可能性: 教職課程におけるサービスラーニングを事例として

The Distinction Between Process Based and Product Based Approaches to Teaching Writing and Its Effects on Classroom Methodology

Weblogs as an Educational Tool

西尾実の教養論と教材論

近世後期における一豪農の「家訓」: 安芸国山県郡加計村佐々木八右衛門家の事例

- HARP
- 参加大学一覧
- ホーム

### ブラウズ

- タイトル
- 著者
- 資料タイプ
- 日付

- ヘルプ
- 登録 (管理者専用)
- パスワード変更

# 必要経費

- 初期導入経費（サーバ・システム設定）  
→CSI事業費
- ランニングコスト（コンテンツ収集）  
→各自
- 保守委託費・サーバ更新積立金  
→**分担※**

※11大学以上の参加で年額30千円程度

# 県大図協へ提案

- 正式事業としての承認  
全加盟館強制ではなく任意参加としての事業  
(分担金が発生するため)
- 委員会の設置  
—————→ 2007年度承認
- 補助金の支出  
—————→ 2008年度承認待ち

# 県大図協からの補助金支出に係る議論

- 余剰金がない
- 全加盟館からの会費を使うことへの是非
- 参加館の数も未確定・運営も不確定  
時期尚早・軌道に乗るまで待て



いつまで？今しか決める時はないのでは？

- 名実とも県大図協の事業とするために必要
- 予算を見直し

# 広島県大学図書館協議会



各大学の研究成果を公開

A

B

C

D

大学

大学

ローカルな  
DRF ?

コンテンツ収集、コンテンツ登録

## HARP勉強会

(HARP参加館担当者 + 有志で構成)

グループウェア、メーリングリスト、ワークショップ

共同リポジトリ委員会  
広島経済大学を始め  
6大学で構成  
協議、運営計画等

事務局(広島大学)  
・庶務・連絡調整

システム班  
・サーバ管理

普及班  
・普及・広報  
・勉強会の主催  
・サポート活動

# 広島大学の立ち位置

- HARP参加館にあらず  
→コンテンツ登録なし・分担金支出なし
- 共同リポジトリ委員館・事務局として関わる  
→会費の管理・システム関連の連絡  
→勉強会を中心としたサポート
- **広島大学のメリット？**  
→ **地域社会貢献事業** (大学の中期計画)  
→ 相互連携  
→ スキルアップ

ホンネ  
国立大学は異動多  
いし...

# 意識形成 -勉強会-

日時・会場	内容	参加者
06.10 広島大	(講義)「機関リポジトリ概要」「リポジトリシステムの現状」 「広島大学学術情報リポジトリ」「コンテンツと著作権」	8大学 11名
07.1 広島経済大	「コンテンツ収集方法について」(講義) DSpace登録実習	9大学 13名
07.6 広島経済大	コンテンツ収集プラン策定 XooNips登録実習	9大学 15名
07.12 広島経済大	「コンテンツ収集のためのアプローチ」(講義) カスタマイズ協議、登録実習	13大学 17名
08.4 広島経済大	登録実習、進捗段階別講義	15大学 25名

## 参加大学の意識変化(広島市立大学)

2006.6 事前アンケート	「リポジトリって何？」 <b>どこか遠くの話</b> に聞こえた。 勉強会なら参加できそう。乗り遅れたくない。
2006.10 第1回勉強会	IRの概要について理解できたような気はするけれど... <b>うちの図書館にはまだ早い。他にできてないこといっぱいあるし...</b> でもこの勉強会には参加し続けよう。
2007.1 第2回勉強会	<b>広島工業大がサーバを構築したことに感動。</b> プロジェクトが本当に進行し始め・ <b>現実のもの</b> と捉えられるようになる。(でも本当にコンテンツ収集できるかな?)
2007.6 第3回勉強会	自学のプランを現実的に考えられるようになる。 <b>運営体制・資金の不安も明確に意識</b> できるようになる。
2007.7 委員会発足	<b>自分たちが事業を動かす番</b> になったことを知った。
2007.12 第4回勉強会	運用がより現実的になる。運用の諸課題で意見が分かれた時、 <b>共同の難しさ</b> を少し感じた。
2008.4 第5回勉強会	登録上の細々とした迷いを相談できること、情報交換できることが本当に <b>ありがたい。連携を維持していきたい。</b>



# HARPに期待すること (アンケートから)

2007.6(公開前)	2008.5(公開後)
<ul style="list-style-type: none"><li>•学内成果の電子公開(3)</li><li>•HARPを通じた連携強化(3)</li><li>•コンテンツの充実(2)</li><li>•参加館の拡大(1)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>•HARPを通じた連携強化(8)</li><li>•参加館の拡大(6)</li><li>•ノウハウの共有(3)</li><li>•学内成果の電子公開(2)</li><li>•安定的な運営(1)</li><li>•汎用性の高いモデル構築(1)</li><li>•自学IRの独立支援(1)</li></ul>

カッコ内回答数

# 実現の要因

- 県大図協の正式事業となったこと
- 先行大学のサポート
- 役割の分担ができたこと
  - 普及(広島経済大)・システム(広島工業大)  
広報(広島市立大・広島女学院大)ほか
- CSI事業費による準備
- 参加大学の前向きな姿勢

# 県大図協間の温度差

- 業務のプライオリティ
- 研究大学と教育大学の違い
- 紀要発行団体との関係
- 分担金より作業の手間

# HARPへの懸念・不安 (アンケートから)

2007.6(公開前)	2008.5(公開後)
<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>コンテンツの収集</b>(3)</li><li>• 運営体制の確立(2)</li><li>• 人員の確保(2)</li><li>• 参加館間の温度差(2)</li><li>• 共同運用の労力(1)</li><li>• ランニングコストの確保(1)</li><li>• 知識のなさ(1)</li><li>• 組織の維持(1)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>広島大学のサポートの存続</b>(8)</li><li>• 発展的解消後の自立(6)</li><li>• 自学の自立との関係(3)</li><li>• コンテンツの収集(2)</li><li>• 人員の確保(1)</li><li>• 参加館間の温度差(1)</li></ul>

カッコ内回答数

# 今後の展開

1. モデルの改善・構築
  - システムモデル
  - 運用モデル
2. 普及
  - 参加館拡大
  - 担当者育成
  - 他コミュニティとの情報交換

# 課題は山積

- マンパワーの問題
- 出版社の著作権ポリシーの問題
- 参加館間の格差
- HARPの中で大学ブランドを出していけるのか、どの程度認めるのか
- 県大図協HARP非参加館へもメリットのあるものになるのか
- 参加館が独立した場合、その後をどう考えるか

費用と労力をみんなでシェアして  
機関リポジトリの構築を



課題もシェアし、一緒に解決

**連携のよさを活かして**

ご清聴ありがとうございました